

閉上地区まちづくり協議会 世話役会(154) 議事録

日 時	平成 30 年 11 月 20 日 (火) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉 (副代表) 今野義正、(事務局長) 今野慎介、 (世話役) 宇佐美久夫、南部比呂志 (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	市職員 震災復興部 2 名 坂口先生
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. プレゼン大会に向けて 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 153 回世話役会議事録案 資料-1 プレゼン大会出席簿 資料-2 プレゼン大会のまとめ 資料-3 いぬねこ歌謡祭チラシ 資料-4 日和橋開通のお知らせ、西地区のクリスマス会ちらし 元気っこ商店街ちらし

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・ 第 153 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・ 道路整備等の予定や地域の交流会、スポーツエリアの説明時期などの報告があった。

<前回からの動き>

- ・ 被災者支援連絡会の開催内容が報告された。

<今後の動き>

- ・ 市民懇談会の参加や仙台高専主催のゆりフェスの内容が報告された。

<視察対応>

- ・ 南気仙沼の協議会の視察対応は、世話役 2 名の参加で対応することとした。

2. プレゼン大会について

- ・ まちびらき実行委員会へのプレゼン大会の結果報告の仕方について意見交換した。
- ・ 提案内容を再度説明し、まち協側としてのポイントを提案することとした。

3. その他

- ・公園の名称について、市の原案に対して意見交換をすることになった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(155)12/4(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第153回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第153回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・閑上港線の日和橋開通について説明があった。
 - ・県道塩釜亘理線と閑上港線との交差点に11月18日から右折レーンを設置する。レーンの再配置で対応する。
 - ・次週以降でスポーツエリアの内容について、報告したい。
 - ・公安委員会の標識設置についても12月中に工事班から説明する予定である。
- 地区全域への設置なのか？学校周辺も設置するのか？
- ・設置できる場所は全部の予定と聞いている。
- 日和橋の開通の周知方法は？
- ・復興だよりへの掲載や市長の定例会見などで情報提供していく予定。
 - ・顔合せ会の案内を説明した。今回はクリスマス会でもあるので、子供も参加するイベントとした。
- なとり元気っこ商店街とは？
- ・それについては、詳しいチラシを配布している。参加する人は詳しくわかっている。一般住民参加はそのあとのイベントから参加してもらう予定である。

<前回からの動き>

- 被災者連絡会では、西地区とか中央第二団地の有志の会などの住民顔合せ会開催を軸に、自治会組成に向けた準備しているとの説明があった、コミュニティ形成への参加の携わり方を今後協議するものとした。(市)
- ・状況を報告しただけということ？
 - ・顔合せ会の開催やそれをきっかけとした町内会組織化に向けた取り組みなどが報告された。
 - ・被災者連絡会は何名で構成されているのか？

→34名、13部署である。(市)

- ・主催は？

→生活再建支援課である。(市)

- ・参加しているのが、支援団体ということですね。

→そうだ。(市)

- ・組織図は？

- ・ないと思う、名簿はその都度強化されている。

<今後の動き>

- ・市民懇談会は、世話役が参加する予定である。

- ・子育て支援だけでなく、よりトータルな地域の人口定着に向けた施策展開を求めている。

- ・関フェス参加が少ないので、声かけをお願いしたい。テラリウムを作成、学校の模型も作っている。模型は、学校へ寄贈予定である。(坂口先生)

- ・小中学生には、来年、流しそうめんなど、一泊で朝日を経験させるイベントを企画中、仙台高専ともコラボしたい。

- ・中庭の活用を積極的に図りたい。イベント時での運用が良いと思う。

<視察対応>

- ・視察受入れについては、中央集会所を13:00から17:00までお借りした。視察者は、13:30に来訪するので、現地視察したのちに、戻ってきて意見交換することとする。

- ・気仙沼の人たちが何を聞きたいか？

- ・産業系の立地経緯等を説明する必要があるか？

→気仙沼の協議会は、立ち上げの経緯が関上に似ていると聞いている。(事務局)

- ・意見交換時に、質問等で対応すればいいのでは？

→商業者と協議会との関係は聞きたいらしい。(事務局)

- ・まちびらきにむけて連携を模索しているとしか言いようがない。

→事業者との関係性を住民が説明できていることが重要だ。(事務局)

- ・関係資料を整理して、配布するが、現場対応となるだろう。

- ・資料も一覧で整理する。

- ・13:20分集合とする。

2. プレゼン大会のとりまとめ

- ・プレゼン大会は、各団体からより多くのアイデアを提案してもらった。開催してよかったというのが実感である。多岐にわたったアイデアをどのようにまとめて、実行委員会にあげて、まちびらきに生かすかは、これから、協議会としてまとめる必要がある。来週のまちびらき実行委員会に提案したい。

- ・事務局の資料説明

- ・プレゼン大会の開催模様は、宮城テレビは特集で放映すると聞いた。

- ・朝日、河北、共同通信などの新聞社も取材に来た。

→資料は、コメンテーターの声を整理しているだけであり、何に着目して実行委員会へ打ち出すかが検討課題である。(事務局)

・具体的アイデアもあったし、抽象的な提案もあった。関連性があるので、うまくまとめられないか？

・金額の問題もメニューに対してある。仕訳が必要だろう。

・集客力という面の評価も必要で、キーワードを数値化するとうくなるということで整理したらどうか？

・整理する方法として数字なのか、順位なのか？悩ましいところだ。

・お金をかけないとできないこと、来てもらうことによりできること。お願いすることでできることなどに仕分けする必要がある。

・資料として、キーワードの整理をすると資料のとおりでいい。

・それ以外に感謝、価格と集客、3つの視点で分析する資料があるといいのでは？

→感謝と集客に対する提案が必要だと考えている。それ以外のキーワードがないかどうか、集客に関しても数なのか、コミュニケーションなのか、頻度や定員における企画効果なのかがポイントになる。

・多様なイベントの企画、複数のイベントによる分散なども狙えるのでは？

・満足度が重要だろう。

・パレードについては、効果的だと思う。参加型のパレードなら人は引き寄せられる。

・足湯の実現性なども悩ましいところだ。

・ターゲットの問題だろう。市長は名取市全体としてのまちびらきとして考えているとすると、どのレベルの人をよぶのか？特に、高齢者は歩けないので、食や視覚が重要になるだろう。パレードやバルーンは視覚として楽しめる話だろう。

・ターゲットは意図的に決めるべきではないだろう。高齢者向けには、中央公園付近でやるとか、場所を特定することもあり得る。

・住民と支援者がターゲットだろう。まちびらきの周知について早期開始なども提案したい。

・横断幕の設置なども検討すべきだろう。

・できればすべて実行したいが、問題もあり、6団体の提案内容を整理し、課題として金額なども整理したらどうか。参画してもらうことが前提として委員会では、商工業者も参加しており、コラボを議論すればいいのではないかと、難易度、サポートも含めて、提案した団体へ検討結果を示す必要がある。

・企画団体と実現できる母体とを結びつけることも必要だろう。

・実行委員会に出席していない人にも理解してもらう必要があるだろう。

・7枚の提案を示しながら、実行への難易度とかを評価したらどうか、コストや集客数とか、そういう評価をしないといけない。

→コンセプトを分解したものが資料となっている。提案されたものを示して、どうなるのかを整理したほうがいい。

→まちびらきなので、閑上らしさで人を集めるという視点で整理すると、イベントのつながりの中で、実行すべきかどうかを判断することも必要だろう。(事務局)

・薄く広くなると困る。一極集中もこまる。

→法面の利用についても言いアイデアだと思う。(事務局)

- ・従来型のイベントと新しいイベントに分けられる。参加する人、実行する人、見ている人などの視点を整理して、手伝うことができるといいのでは？
- キーワードを追加するのはわかりにくくなる。提案そのものが新しい関上を目指している部分もある。
- ・実現の可能性について、まち協は評価すべきだろうか？
- 団体とも多くのイベントを企画しているが、実現性のあるものを評価できる。変更で対応できる部分もある。(事務局)
- ・船の運航は、その分野に聞いてみる必要がある。
- ・シンプルな整理の仕方をするべきだろう。
- ・言葉だけの人もいる。
- 実行委員会のメンバーは、プレゼンターにいるのか？
- ・学校は入っている。
- ・実行する前提で、コラボをしていく話をするべきだろう。問題は何かを説明できればいいのではないかと思う。
- やろうということ前提での提案もある。アイディア的なものとして、実現するにはどうするのか、周遊、食など実行してくれるものに順位をつけるとかか？(事務局)
- ・小中学校の提案については、参加してもらえる企画に巻き込むことが必要だと思う。
- ・提案内容を結び付けていくことが必要だろう。時間がかかる話と分かりやすい話がある。
- 委員会でもアイディアが出ている、今回も提案があるので、深堀すべき提案を絞ってやる必要があるのではないか？絞り込める案があったかどうか？(市)
- ・まち協としてまとめる、数字で置き換えるなどの工夫が必要だと思う。
- ・委員は、ネタ探しをしていると思う。アイディアがあるので、委員が使えるかどうかの判断もできると思う。
- ・まちびらきにも参画してもらうことが前提となるのか？
- ・そうだろう。
- 担当を切り分けていって、まとめるのは委員会で、事務局の抱え方が問題となる話もある。提案を参考にしてもらなど、委員に持ち帰ってもらって可能な話を整理してもらうことなどが必要だろう。(事務局)
- ・朝市は5000人を集めるといっている。提案をくっつけるといいのではなどの話があり得ると思う。
- ・実行委員会で企画内容をまとめられるのかどうか
- ・企画に対する責任を持たせるなどの話をしないといけない。
- 役割を明確にしたい。
- ・どのような組織が対応していくべきかその仕切りをしていくのが必要だろう。
- セイリングメンバーも協力的なこともあるといえる。割り振るのがむずかしい。
- ・中央公民館で中心的なイベントを検討するならいいのだろう。
- ・実現に向けて工事業者の協力なども考えたらどうか？
- ・実行委員会で委員の役割をきめて進めてもらうことがいいが、委員会でどのようにプレゼンをまとめるのか？
- ・まとめが必要。

→重要な内容を委員会で確認してもらうことが重要。提案内容の趣旨が変わってしまうこともありえる。
(事務局)

→世話役の各自のアイデアに対する評価はいかがか？

- ・ちびっこ丸のパレードは気になる。
- ・つなぐというキーワードはいいと思う。でも、周遊のやり方が問題だ。
- ・足湯はやりたい。なぞとき、スタンプラリーはいいと思う(市)
- ・水平台がいいなあと思う。東北6県の食についてもアイデアとしてはいい。
- ・周遊をさせたい。自転車利用など、点在するところを周りながらというのは、再開の場にもなる。2部に分けてやる方法、夜やる方法もいいと思う。
- ・住民もまちびらきを独自にやりたいということもある。
- ・実現できる課題を整理することが必要で、実現させるやりかたを議論することが重要だろう。
- ・イベントをみんなで実施することが重要。一体的なまちびらきの実施に向けた取り組みをお願いすることも必要。
- ・企画をみんなで実施することが重要。
- ・ばらばらでやることだけは避けたい。
- ・ステージなどの企画もルール作りが必要。
- ・船のイベントを継続的にも進められればいい。
- ・早朝でのイベントなども、地域の風習的な側面から実行したいと考えるが、実現は難しいかもしれない。

→市の主催でできないことも多い。(市)

→7枚配布、まとめた資料を1枚、まち協としての印象的なものを整理する。(事務局)

- ・実行委員会もわかってもらえるのではないかと思う。
- ・プレゼンできなかった団体の提案内容は、イベント時に時間が確保できれば実現できるので、大きな問題とはならないと思う。

→採用の方向だろう。(市)

→助成金の残金は、プレゼン大会の内容を周知する印刷費で対応したいがいかがか？(事務局)

→決まっていない内容を広く周知するのは誤解を招くので避けてほしい。(市)

- ・横断幕などでの対応を検討してほしい。

3. その他

→スポーツエリアの説明は4日で調整する。(市)

- ・公園の名称について検討課題となっている。

→市で案を作成するので、検討してほしい。(市)

- ・世話役会でやるのか、公園緑地部会でやるのか検討が必要。
- ・昔の町名を公園にしたかどうかという案もある。
- ・昔の地名をつかうこともいい、仙台でもやっている。震災前の痕跡が残るといい。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(155)12/4(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室 以上